

広島大学の知に触れる情報誌

H-plus

January 01
2025

Hiroshima University Magazine vol.26

アジアの海洋・海事拠点として
海と共に生きる

[CROSS TALK+]

脳とAIは境界を超える懸け橋。平和への祈りをその手に込めて。

東京大学大学院薬学系研究科 教授 池谷 裕二氏 + 広島大学 学長 越智 光夫

[特集] 世界に挑む広大#8

海との共生

アジアの新たな海洋・海事拠点をつくる



散



詩



Message from President

語



録

～100周年へ更なるチャレンジを～

2024年11月2日、3日の広島大学創立75+75周年記念式典・記念事業を無事終えることができました。2日は大雨で山陽本線が一時不通となる中、多くの来賓や同窓生の皆さまのご来場・ご支援に感謝申し上げます。ことに岸田文雄前総理大臣にご来校いただき、祝辞を賜りましたことは広島大学にとり、大変光栄なことでありました。

これまで2年間にわたり周年事業を教職員一体となり進めて参りました。吉永小百合さんによる原爆詩朗読会をはじめ、世界7カ国・地域10大学が参加した第1回平和学長会議、関西・関東でのイベントなどを経て「広島大学創立75+75周年記念式典・記念事業」でフィナーレを迎えました。

予定していたフランスの歴史人口学者、エマニュエル・トッド氏は3日前急病による来日中止が決まり、気を揉みましたが、元外交官で作家の佐藤優氏が代わりに務めてくださり、素晴らしいご講演をいただきました。まさに天の配剤と感謝いたしました。また山極壽一前京都大学総長、国連事務次長の中満泉氏、同窓生の田中卓志氏らをお招きした講演やトークショーも素晴らしいものでした。

原爆投下から4年後の1949年に創立した広島大学にとって、戦後の混乱と原爆被災が重なる中での開学への道のりは、決して平坦ではあり

ませんでした。広島大学の創設に必要な資金は約4億5千万円。県有土地建物等の現物寄附分を除いた約3億4千万円を調達する必要がありました。その3分の1が県費、残り3分の2は県内外の寄附金によって賄われたのです。県内募金は郡市別に割り当てられ、例えば広島市の場合1世帯あたり290円、比婆郡は35円などと負担額が算定されました。

さらに資金募集のため1949年に開催されたのがプロ野球公式試合「阪神対東急」戦です。入場料は内野席で大人150円。1万2千人の想定を大きく上回る3万5千人余りの観客が詰めかけ、20万円以上の設立募金が集まったといわれています。この時のプロ野球に対する県民の熱気が広島カープの誕生につながりました。他にも広島おどり特別公演、広島県教育宝くじの収益などが設立資金に充てられました。

このように、広島大学は県民の皆さまのご支援によって開学にこぎつけたのです。私たちはこうした歴史をしっかりと記憶にとどめ、県民の皆さまへの敬意を持ち続け、次の節目となる100周年に向け、「地域に愛され、世界から選ばれる大学」を目指して、一層努力していく所存です。

越智光夫

Further challenges for the 100th anniversary

On 2 and 3 November 2024, we successfully hosted the 75+75th Anniversary Bombing Commemorative Ceremony and Events at Hiroshima University (HU). I would especially like to thank the many guests and alumni who attended the events on 2 November, despite the heavy rain that temporarily disrupted the JR Sanyo-Honsen train services. It was a great honor to have former Prime Minister Fumio Kishida visit our university and deliver a congratulatory speech.

Over the past two years, our faculty and administrative members have collaborated on various anniversary projects. We kicked off the celebrations with an A-bomb poetry reading by Sayuri Yoshinaga, followed by the first Peace Presidents' Conference, which welcomed representatives from ten universities across seven countries and regions around the world. There were also various events in the Kansai and Kanto regions, and the culminating event was our HU 75+75th Anniversary Commemoration Ceremony.

I was initially concerned when I learned that the French historical demographer Emmanuel Todd, scheduled to speak in Hiroshima on 2 November, suddenly became ill three days before his planned visit to Japan and thus had to cancel his lecture. Fortunately, the former diplomat and author Masaru Sato graciously stepped in and delivered an excellent lecture. I am extremely grateful for his contribution, and for saving the day. We also hosted insightful lectures and discussions featuring former Kyoto University President Juichi Yamaguchi, UN Under-Secretary-General Izumi Nakamitsu, and alumnus Takushi Tanaka.

Founded in 1949, just four years after the atomic bombing, Hiroshima University faced numerous challenges in its

early days, as the post-war turmoil compounded the devastation caused by the bombing.

The funds needed to establish Hiroshima University were approximately 450 million yen. It was necessary to raise about 340 million yen, excluding the in-kind donations of prefectural land and buildings. One-third of the necessary funding was provided by the prefectural government, while the remaining two-thirds came from donations both within and outside the prefecture. Donations were allocated based on district and city, with contributions calculated at approximately 290 yen per household in Hiroshima City and 35 yen per household in Hiba County.

To gather additional funds, a professional baseball game between Hanshin and Tokyu was held in 1949, with ticket prices set at 150 yen for adults in the infield. The event attracted over 35,000 spectators, far surpassing the expected 12,000, and raised more than 200,000 yen for the university's foundation.

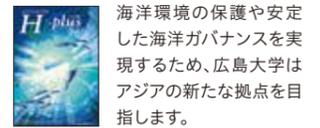
The local enthusiasm for professional baseball during that time contributed to the establishment of the Hiroshima Toyo Carp baseball team. Additional funds were also raised through a special performance of the Hiroshima Odori dance and proceeds from the Hiroshima Prefecture Education Lottery.

Thanks to the generous support of the prefectural citizens, we successfully launched HU.

We aspire for HU to become 'a university loved by the community and chosen by the world,' by honoring its history, respecting the people of Hiroshima Prefecture, and diligently working toward our next milestone: the university's 100th anniversary.

Osaka Mitsuo

【Hiroshima University】の魅力や情報をあなたに“プラス(+)”、【HU】とあなたが“つながる(+)”という願いを込めて。



CONTENTS

- 01 散詩語録
- 03 CROSS TALK+
東京大学大学院薬学系研究科 教授 池谷 裕二氏 +
広島大学 学長 越智 光夫
- 07 特集 世界に挑む広大#8
海との共生
アジアの新たな海洋・海事拠点をつくる
- 11 持続可能な未来のヒント
広大 もったいなれっじ
- 13 AERAが書く 研究者の素顔
- 15 HIRODAI GLOCAL
- 19 こちら図書館!
- 20 HIRO-DAI HEROES
- 21 卒業生インタビュー 私も広大です
- 23 特別企画
写真で振り返る75+75周年事業
- 25 HU TOPICS
- 27 HU-style
- 28 読者アンケート・プレゼント
- 29 広島大学への寄附・基金

広島大学SNS



Instagramでキャンパスの日常を配信中



「好き」の追求が研究者の武器 独自の着眼点を育む

越智 今回は東京大学大学院薬学系研究科の池谷教授に、脳研究やAIについてお話を伺います。池谷さんは静岡県の藤枝東高等学校から、東京大学理科一類に進学されました。理科一類は工学部に進む学生が多い中、なぜ薬学部を選ばれたのですか。

池谷 親がエンジニアだった影響で工学分野に興味があり、理科一類に入学したのですが、入学後は自然科学に興味湧いて薬学部に進みました。ところが、私は大学受験の際に生物を選択していなかったで、「ATP(アデノシン三リン酸)」を知らないなど、薬学を学ぶための基礎知識が全くありませんでした。初

めは授業についていけず、薬学部を選んだことを後悔しましたが、猛勉強の甲斐あって、ある程度成績をキープできるようになりました。

越智 環境の変化によって、興味の対象は時に移り変わるものですね。小さい頃からいろいろなことに興味を持つお子さんだったのですか。

池谷 そうですね。昆虫や鉄道、天体などいろいろなものにハマり、ひたすら名前を暗記していた記憶があります。実物を見たこともないのに、図鑑を繰り返し読み込んで名前を憶えていました。

越智 子どもの「好き」に対するパワーには驚かされるばかりです。池谷さんは、東京大学卒業後コロンビア大学へ留学されていますね。

池谷 コロンビア大学への留学は、私の人生

において大きな転機でした。それまで周りに流されるがまま生きてきた私にとって、初めて自分の意思で進路を決めたのがこの留学です。コロンビア大学では素晴らしい論文を執筆する優秀な研究者に師事し、成長することができました。また、コロンビア大学を選んだのは、芸術や文化が集まる街・ニューヨークの中心部に位置することも理由の一つです。私はクラシック音楽の鑑賞が趣味で、小学校から吹奏楽部に所属していました。不純な動機かもしれませんが、研究の傍ら世界レベルの音楽に触れられたのは貴重な経験でした。

越智 現地の文化体験も留学の醍醐味と言えますね。現在は薬学を離れ脳の研究をされています。

池谷 もともと工学系に関心を持っていたこと

もあり、まるで精密機械のような脳の構造に興味深く、研究対象に選びました。初めは他の研究者と着眼点がずれていることを恥ずかしく感じていたのですが、独自の着眼点こそが研究者にとっての武器であると気づき、今では自信を持って研究に生かしています。

人とAIどちらが クリエイティブ?

越智 AIの研究もされている池谷さんは、AIと人、どちらの方がクリエイティブに優れているとお考えですか。

池谷 難しい問題ですね。OpenAI社が発表したChatGPTという有名な生成系AIがあり



ます。ある研究で、人のアイデアとChatGPTのアイデアのどちらが優れているか競争する実験をしたところ、ChatGPTのアイデアの方が優れており、人よりAIがクリエイティブだという結論が出ていました。この結果には私も驚きましたね。ただし、AIは与えられたお題に対して多様な答えを出せる一方で、お題そのものを作ることはできません。0からのクリエイティブでは人の方が優れていると考えます。

越智 人とAIでは、得手不得手が異なるのですね。

池谷 さらに、別の研究では、優れた会話能力を持つAIを2台用いて、AI同士で会話をさせました。最初のうちは人同士より高度な会話をしていたのですが、そのうち会話の内容がループし始めたのです。人であれば、連想によってどんどん話題を広げていけるので、そうはなりませんね。よく誤解されがちなのですが、生成系AIの「生成」とは、0から何かを生み出すという意味ではなく、既存の点と点を線で結ぶようなイメージです。AIは学習したデータを組み合わせてアイデアを出すことはできますが、データベースにない突拍子もないアイデアは生み出せません。これが生成系AIの最大の欠点だと気づきました。

越智 人間にもAIに負けない優れた点があることが分かりました。これから技術が発展したと

東京大学大学院薬学系研究科 教授
池谷 裕二 いけがや ゆうじ

静岡県生まれ。1993年東京大学薬学部卒業、1998年薬学博士号を取得。コロンビア大学留学後、東京大学薬学部講師などを経て2014年より現職。文部科学省大臣表彰 若手科学者賞、日本学術振興会賞、日本学士院学術奨励賞などを受賞。

広島大学 学長
越智 光夫 おちみつお

愛媛県今治市出身。広島大学医学部卒業後、整形外科に入局。1995年鳥根医科大学教授。2002年広島大学大学院医歯薬学総合研究科教授に就任。広島大学病院長を経て2015年から現職。2015年に紫綬褒章を受賞。

脳とAIは境界を超える懸け橋。 平和への祈りをその手に込めて。

池谷 裕二氏
東京大学大学院薬学系研究科 教授

越智 光夫
広島大学 学長



しても、AIの限界は超えられないのでしょうか？
池谷 現在のアルゴリズムのままだと難しいでしょう。逆に、AIが0からアイデアを創造するようになってしまうと、私たちが求めているAIからかけ離れ、使い物にならなくなる可能性もあります。現在のアルゴリズムのままでも、既存のデータの中から革新的なアイデアを生み出し、ノーベル賞レベルの発見をするかもしれませんよ。



脳とAIを融合して 平和実現を目指す

越智 広島大学は、世界で初めて原子爆弾が投下された被爆地広島に開学した大学として、平和を希求する精神を理念としています。世界で絶えず戦争が続く中、AIの力で平和に貢献することはできるのでしょうか。

池谷 戦争は宗教など個人や集団の考えの違いから起こります。AIを用いて他者の考えをスムーズに理解できるようになれば、戦争をなくせるかもしれません。私が主導する「ERATO 池谷脳AI融合プロジェクト」では、脳にAIを埋め込んだら何ができるのか、脳をインターネットに接続したらどうなるのか、という研究をしています。その最終段階として、複数の脳をAI技術で連結し個人間で情報を共有できれば、言語や仕草などの古典的なコミュニケーション手段を超えたシームレスな意思疎通が可能になると考



『夢を叶えるために脳はある
「私という現象」、高校生と脳を語り尽くす』
池谷 裕二 / 講談社

えており、平和に少しでも寄与できるかもしれません。
越智 AIが平和を導く可能性はある一方で、戦争に使われる可能性もあります。実際に、ドローンにAIを搭載した自動攻撃が行われていると聞きました。
池谷 ウクライナなどではAIを搭載したドローン兵器が使用されているようです。ただし、兵

器にAIを用いることで、兵士の犠牲や民間人の巻き添え、住宅地の被害が少なくなる可能性もあります。人類が戦争を避けられないのであれば、AIの力で犠牲を減らすのも現実的な対処方法の一つかもしれません。
越智 それも平和への一歩としては有効でしょう。しかし、逆に人も街も一網打尽にするようなプログラムが組まれていた場合は絶望的になりますよね。

池谷 その通りです。時にはAIが判断を間違える可能性もあり、少しのミスでも命取りになります。どうすれば平和を実現できるのか。その難しさに気が遠くなりそうです。

越智 我々は手の届くところから地道に平和への一歩を進んでいくしかないようですね。最後に、読者である学生に向けてメッセージをお願いします。



池谷 私たちはなぜ脳を持ち、何のために生きているのか。このような疑問を持ったことはありませんか。先日、『夢を叶えるために脳はある「私という現象」、高校生と脳を語り尽くす』という本を上梓しました。この本の「夢」とは“ドリーム”ではなく“仮想現実（VR）”を指しています。この世界は現実なのか、時間はなぜ存在するのか、など哲学的な問いを巡らせ、高校生との対話を重ねながら、思いもよらない答えを導きます。科学はもちろん、哲学や生命の本質に興味がある高校生は、ぜひ手に取って読んでみてください。

Plus な 広大

池谷裕二氏と越智学長の対談内容に関連して、広島大学をもっとよく知るためのTOPICSを紹介。あなたにも社会にもプラスになる大学の取り組みや魅力をお届けします。

PLUS [AI]

AI分野で社会に貢献する 博士課程後期学生をサポート



医学研究実習発表会でのポスター発表の様子

「広島大学創発的次世代AI人材育成・支援プロジェクト」では、AI分野で社会課題の解決に資するイノベーションを創出する博士課程後期学生を育成・支援します。研究費の支援のほか、スキルの習得やキャリア開発に関わるさまざまな取り組みを実施しています。

Voice AI技術と医療の橋渡しができる人材を目指して



がんなどの発症に関わるとされるEBウイルスの研究で、膨大な遺伝子情報を効率的に処理するためにAIを活用しています。次世代AIフェローに採択されたことで、AIのエキスパートである教員から直接指導を受け、新たな視点や問題解決力を得られました。

大学院医系科学研究科 博士課程後期1年 福島 大誠さん

PLUS [Faculty of Pharmacy]

次世代を担う 薬剤師と創薬研究者を育成



患者志向型合宿勉強会で、薬害について学びました

広島大学薬学部には薬学科と薬科学科があり、6年制の薬学科では専門知識と知恵を併せ持つ薬剤師を、4年制の薬科学科では世界的な視野を持つ創薬研究者を育成します。薬学部の大きな特徴は少人数教育。1学年5人以内で構成される研究室で、最先端レベルのカリキュ

ラムを学べます。また、医学部や歯学部と連携した授業を取り入れ、チーム医療への意識も育みます。薬学部では、脳疾患の予防や治療に寄与する脳の代謝酵素の研究や、抗菌薬耐性の拡大を抑制するための研究など、多様なテーマに取り組んでいます。最先端技術の開発と薬学の発展を担う人材の育成を通じて、人類の健康と社会の持続的発展に貢献します。

PLUS [Wind Orchestra]

多彩なメンバーで生み出す 活気あふれる音楽



2024年5月に広島大学音楽祭フェニックスコンサートが行われました

広島大学吹奏楽団は、コンクールや学内外のコンサートに向けて、週4日練習に励んでいます。多様な学部学科の学生102人が所属しており、大学から楽器を始めた初心者もいます。2024年の全日本吹奏楽コンクール中国大会金賞をはじめ、さまざまな賞を受賞しています。

Voice 学生主体で作り上げてきた音と団結力



当団は運営から音楽づくりまで、学生主体で行っています。100人を超える団員の事情や特性を尊重すること、活動内外でのあいさつを意識的に行うことで、相談しやすい関係性や、目標に向かって一致団結する雰囲気構築しています。

2024年吹奏楽団団長（教育学部3年） 丸川 裕世さん

特集 | 世界に挑む広大 #8

海との共生

アジアの新たな 海洋・海事拠点をつくる

島国である日本において、

海は私たちの生活から切り離せない存在です。

魚介類などの食料の源であるだけでなく、

物流を通じて世界と日本をつなぐ重要な役割も担っています。

しかし、気候変動などにより生態系への影響、

海面上昇、自然災害など、海を取り巻く問題は近年深刻化しています。

これからも海と共に生きていくために、

持続可能な海の世界や海洋ガバナンスの確立が不可欠です。

今回の特集では、国際社会を牽引する

グローバルリーダーの育成に取り組む

広島大学の海洋・海事拠点形成について取り上げます。

広島大学が目指す新しい平和科学

大学の知を結集し 海の世界やガバナンスに寄与

2023年7月、広島大学は重点的に取り組む5つの事項を「President 5 Initiatives for Peace Sciences – 新しい平和科学(安全・安心を実現する「創る平和」) –」として発表しました。強みである総合知を生かして5つの取り組みを推進し、持続可能な発展を導く科学を实践して「平和を創る」大学を目指します。5つの取り組みのうち1つは、海洋・海事のガバナンスについて。持続可能な海との共生を実現するため、海の世界問題や海事、安全保障などに関する教育・研究に注力します。

〈“平和を創る”広島大学の5 Initiatives〉

- イノベーションと経済安全保障に貢献するための半導体エコシステム形成
- ワクチン、医薬品開発、再生医療、細胞治療を通じた地球規模の健康安全保障への貢献
- 平和のための総合的な放射線災害管理
- 海洋・海事のガバナンスと持続可能性のためのアジア拠点形成
- 途上国の栄養改善に資する畜産業改革による食料安全保障

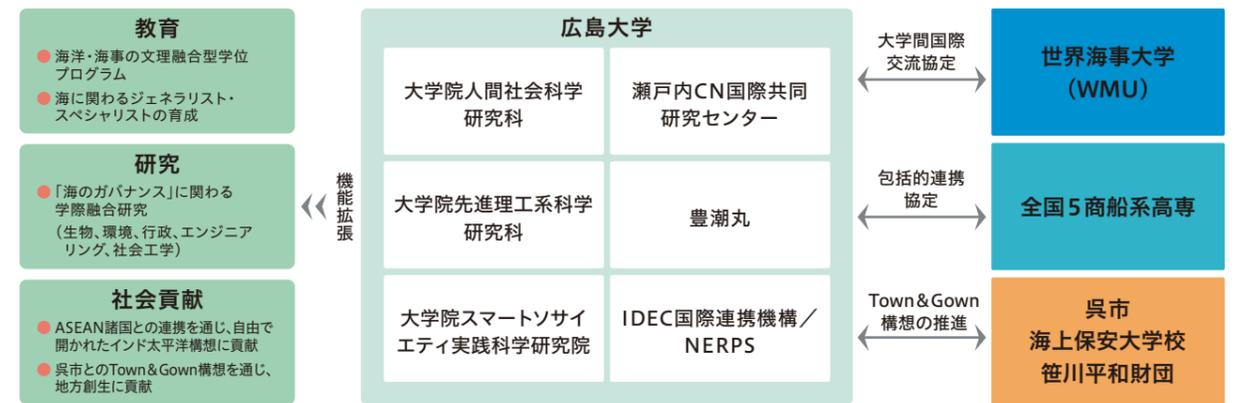
“海のガバナンス”を牽引するアジアの拠点に

持続可能な海洋・海事のため 教育・研究から貢献する

四方を海に囲まれた日本にとって、海洋の健全性は重要な課題です。食料の確保や人や物の輸送などを安定して継続するため、持続可能な海洋環境や海洋ガバナンスの実現が求められています。しかし、近年の気候変動が、海洋環境や漁業資源、海事など幅広い方面に大きな影響を及ぼしています。そのため、国連が定める海洋のルールを見直したり、教育・研究でサステナビリティの観点を取り入れたりする必要性が認識されるようになりました。さらに、世界各地で起こる海洋をめぐる領有権争いなどを踏まえ、特にアジア圏における安全保障の新しい取り組みや人材育成が急務とされています。そこで、広島大学は先端技術や気候科学に、海洋ガバナンス構築に必要な海洋政策や制度設計なども加えた文理融合の教育・研究で持続可能な海との共生を実現する取り組みを全学的に推進します。

学内外の多様な組織と連携し 海洋・海事の拠点の形成を目指す

広島大学FE・SDGsネットワーク拠点(NERPS)や大学院人間社会科学部研究科、大学院スマートソサイエティ実践科学研究院では、海洋を含む持続可能性などをテーマにしてさまざまな学際融合研究を進めています。また、2023年に設置された瀬戸内CN国際共同研究センターや、中四国地域で唯一の大学附属練習船「豊潮丸」において、気候変動対策を含む海洋環境の研究を実施。さらに、大学院先進理工系科学研究科輸送・環境システムプログラムは、国内有数の船舶海洋工学の拠点で、国内2位の論文生産力を誇ります。2023年度には海上保安大学校および全国の5つの商船系高等専門学校(富山、鳥羽、広島、大島、弓削)と7者で包括的連携協定を締結するとともに、世界海事大学(WMU)と大学間国際交流協定を締結。また、呉市ともTown & Gown構想を通じて強固な関係を構築しています。学内外の組織と協働して海洋・海事に関する大学の機能を拡張し、世界的な海洋・海事拠点の形成を目指します。



瀬戸内から実現する！ 持続可能な海の未来

豊かな海を次世代に受け継ぎ、地球や社会の持続可能性に寄与するため、広島大学ではどのような活動が行われているのでしょうか。海洋環境や船舶に関する研究、関連センター等の取り組みをご紹介します。

海洋リモートセンシング研究

世界で唯一の革新的技術を生かし、海洋産業の振興・地域創生に挑む

衛星やドローン、気球などを用いて計測を行うリモートセンシング技術。私はこの技術を用いて、海や湖の環境を地図化する研究をしています。高度な計測技術を応用し、「海洋文化都市くれ」の実現を目指す産官学連携プロジェクトも主導。海洋環境のモニタリングや自動運航船の開発を推進し、呉市の基幹産業である造船業・海運業・牡蠣養殖業の発展につなげます。このプロジェクトは、文部科学省の「共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT) - 地域共創分野(育成型)」に採択されました。呉市はもちろん、商船系高専や民間企業とも連携しながら、持続可能な海洋産業の発展と地域経済の再生を目指します。



研究結果の検証のため、船舶調査も実施



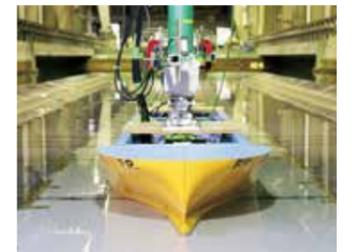
Profile
 作野 裕司 教授
 大学院先進理工系科学研究科
 専門分野は、リモートセンシング、船舶・海洋工学、水環境学。

海上輸送研究

巨大船舶が運河を安全に航行できるように 模型を用いた水槽試験により操縦性能を解明する

船舶の事故は、そのスケールゆえに周囲への影響が甚大です。海上物流の混乱はもちろん、原油漏れなどにより海洋環境の破壊につながる恐れもあります。船舶の航行安全性を確保することは、海を安全かつ持続的に活用することにつながります。特に狭くて浅い運河は、巨大な船舶にとって窮屈な空間であり、潜在的に事故の危険が潜んでいます。そこで私は、運河内での船舶の操縦性能の解明に取り組んでいます。

この研究では、広島大学が保有する船舶試験水槽内に約1/128のスエズ運河模型を敷設し、巨大コンテナ船模型を曳航する実験を行いました。本学的水槽は仮床昇降装置を備えているため、水深の浅い環境を実現でき、運河を敷設したユニークな実験が行えたのです。船舶に作用する流体力の調査を通じて、岸壁に引き寄せられる力の把握、針路を保持する難しさの評価、船速の変化が航行に及ぼす影響などを明らかにしました。これからは船舶の安全な航行に貢献できるように、研究活動を推進していきます。



本学水槽内に敷設されたスエズ運河と巨大コンテナ船の模型



Profile
 佐野 将昭 准教授
 大学院先進理工系科学研究科
 専門分野は、工学、総合工学、船舶・海洋工学。

生物生産学部附属練習船「豊潮丸」

小回りの利く船体で研究のサンプルを採取

豊潮丸は、全長約41m、総トン数256tの中型練習船です。海洋の生物多様性や環境問題などを明らかにするため、研究者と船員が連携して大型ネットや採水器などで海洋生物や海水を採取し、日々新しい知見を蓄えています。私たちの生活が海の健全性に直結すると認識・共有することが、海洋環境の保護につながります。



時には外洋域や深海域の調査でも活躍します

海洋環境研究

海洋環境のベースとなる微細藻類 理想的なバランスで豊かな海を実現する

単細胞の藻類は海の基礎生産者です。これらの微細藻類がバランス良く存在しないと、豊かな海洋環境は保たれません。瀬戸内海ではかつて富栄養化によって有害な微細藻類が大量発生する「赤潮」が頻発していました。行政や地域住民の努力で赤潮は大幅に減ったものの、同時に基礎生産者として必要な量も減ってしまい、漁獲量の減少、特に広島名産の牡蠣の減産が課題になっています。そこで、栄養豊富で、良質な微細藻類のタネを含む海底の水を自動で巻き上げる装置を開発。地元の牡蠣養殖業者と現場実証を行い、大きな牡蠣を育てる取り組みを進めています。これからも豊かな海を後世に残す活動を続けていきます。



牡蠣筏上に設置した海底水揚水装置



Profile
 小池 一彦 教授
 大学院統合生命科学研究所
 専門分野は、農学、水圏応用科学、水圏生産科学。

瀬戸内CN国際共同研究センター

CO₂を海中に貯留し、地球温暖化の解決に貢献

地球温暖化解決の糸口は、海にあるのではないかと期待されています。海藻や海草などの海洋植物が光合成によりCO₂を取り込み、炭素を海底や深海にとどめてくれるのです。海中に隔離される炭素は「ブルーカーボン」と呼ばれており、瀬戸内CN国際共同研究センターではカーボンニュートラルを達成するために、ブルーカーボンの実態を調査するプロジェクトを進めています。また、CO₂シープと呼ばれる高CO₂環境を調査し、将来ブルーカーボンに及ぼす影響の予測にも取り組んでいます。カーボンニュートラルの実現に向けた画期的なイノベーションを創出し、気候変動を食い止めつつ海と人間が共生できる社会の形成を目指します。



CO₂シープ (海底からCO₂が噴き出す場所)

Hint 17

数理モデルで 多様な生物の 神秘を探究する

藤本 仰一 教授

PROFILE | ふじもと こういち
大学院統合生命科学研究所に所属。専門分野は動植物や微生物の発生・進化・共存の数理、複雑系科学。その研究成果は、農業や医療など幅広い分野へ応用できる。



生 生き物の仕組みや現象を、数学で表現

生命現象や社会現象の数理モデリングを専門に研究しています。具体的には、データを用いて計算式などでモデル化し、現象の背後にある仕組みを予測します。例えば、「山に雲がかかると雨が降る」という通説があります。これは人間の経験から導き出されたものですが、実際に空気や水の流れを計算して、雨が降る条件を解析すれば、通説の確かさをシミュレーションによって裏付けることができます。私の研究室では、動物と植物の両方を対象として、細胞レベルから社会や生態系の現象までを研究しています。そこまで幅広い分野で成果を上げている研究室は、世界でも稀なのではないでしょうか。

私たちは研究を通じて、生物の複雑な形や生活の在り方などの自然の理を「数学の言葉」で表したいと考えています。生き物はどのように生まれ、進化していくのか。それらを定式化することは、結果的に生物多様性や健康に生きられる社会の実現にもつながるでしょう。

数 理モデリングが新しい発見につながる

モデルから新発見につながる予測をするためには、他分野の専門家と互いの課題感や仮説をぶつけ合うことが重要です。

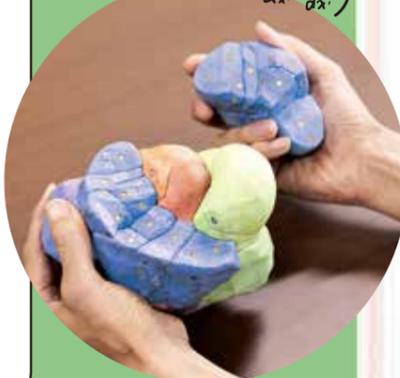
これまでに印象に残っている研究の一つは、脳の形の潜在的な役割を数学を通じて見出したことです。人間の脳全体にわたって、特定の場所や方向に神経回路が配線されていますが、どのようにして特定の場所や方向に配線されるのでしょうか。私たちは、この謎を解明するために胎児の脳に着目しました。脳表面の任意の地点同士を結ぶ最短経路を、網羅的に計算すると、多くの最短経路が集中する場所を発見しました。成人の脳のこの場所には長距離の神経回路が通っており、最短経路が神経回路の発生

する場所や方向の目印となる可能性が判明したのです。また、細胞が分裂する方向はどう決まるのかを、私たちは植物の研究者と3Dプリンターで作った細胞の模型を見ながら議論しました。分裂する面の面積が最小になる仮説を予想し、細胞の形のデータを導入した数理モデルから仮説を証明しました。

このように、数理モデリングは形をはじめ多様なデータから、あらゆる分野に新しい発見をもたらす可能性を秘めています。それが研究のやりがいであり、醍醐味です。皆さんが学校で習う「数学」も実は同じ。その先には数式を共通言語に、科目や分野を超えてさまざまな問題を探究できる面白さが広がっていますよ。

$$\frac{d^2x_i}{dt^2} + \Gamma_{ik} \frac{dx_i}{dt} \frac{dx_k}{dt} = 0$$

$$\Gamma_{ik} = \frac{1}{2} g^{ij} \left(\frac{\partial g_{ij}}{\partial x^k} + \frac{\partial g_{jk}}{\partial x^i} - \frac{\partial g_{ik}}{\partial x^j} \right)$$



多細胞組織の模型を
レゴブロックのように遊びながら、
数理モデルを構想することも

広大

もったいなれっじ

持続可能な
未来のヒント

広島大学の研究室では、SDGsの達成に貢献するさまざまな知が日夜生まれています。読めば必ずためになる、こんなに魅力的な研究を知らないなんて、もったいない！



今回は、数理モデリングと言語学の研究を特集。データとモデルに基づいた分析は、持続可能な社会を目指す私たちに新しい視点と気づきを与えてくれます。



検査器をのどに当てると
超音波で舌の動きが見える

Hint 18

発音の可視化で 言語の困りごとを 解決する

山根 典子 教授

人の言語を構成するさまざまな要素

先日、スポーツバイオメカニクスのゼミと共同で、オンライン面接ではカメラを見て話した方が高評価を得られることを明らかにしました。パソコンのカメラは画面上部についていることが多いので、画面に映った相手を見て話していても、相手からは視線が合っていないように感じられてしまいます。実際にプロの面接官に評価をしてもらおうと、カメラを見ていない場合はカメラを見た場合、音声のみの場合と比べて評価が低くなるという結果が得られました。このように、コミュニケーションでは視

線や手振りなど、音声以外の部分も感情や意図を伝えるうえで重要です。実は音声表現は、人のさまざまな部位の身体運動と深く関わっているのです。そのため、言語学では音声だけでなく意味、文法などの幅広い視点から学際的に言語にアプローチします。中でも私の専門は、人の音声の生成と知覚の仕組みについて探究する「音声学」と、意味の違いを生み出す規則を明らかにする「音韻論」。これらの分野は、言語を理解するために相互に補完し合っており、発音の学習や言語教育において不可欠となっています。

他 分野と協働し、人々の悩みに寄り添う

音声データの収集技術は年々進歩しており、従来は捉えきれなかった調音動作の詳細な分析が行われています。例えば、音声分析ソフトや超音波、フェイスメッシュ、MRIなどを活用すれば、聴覚では聞き分けられない微細な発声や発音の違いが可視化できます。実験参加者の豊富なデータを比較分析することで、新たな規則性の発見につながっています。

言語学の面白さは、さまざまな研究に応用ができる点。私はその特性を生かし、言語教育や臨床などの分野にも貢献したいと考えています。第二言語習得の場面において、コミュニケーションの可視化は非常に重要です。舌の動きを

視覚的にリアルタイムで把握できれば、日本人には馴染みのない英語の「R」と「L」など、母語と異なる発音を理解する助けになります。教育者にとっても、学習者が何につまずいているのかを知るヒントになるでしょう。また、臨床分野においては言語聴覚士や歯科医と連携し、発音の歪みや嚥下などの問題を抱える人々の治療に直接貢献できると考えています。コミュニケーションにおける困難は、身体的な病気と比べて軽視されがちですが、治療などで改善する可能性もあります。いろいろな悩みを持つ人々に寄り添い、データ分析によって社会に気づきを与えるような研究を目指したいです。



PROFILE | やまね のりこ
大学院人間社会科学研究科に所属。言語学、特に音声学、音韻論を専門とする。オンライン面接についての論文は Scientific Reports に掲載された。

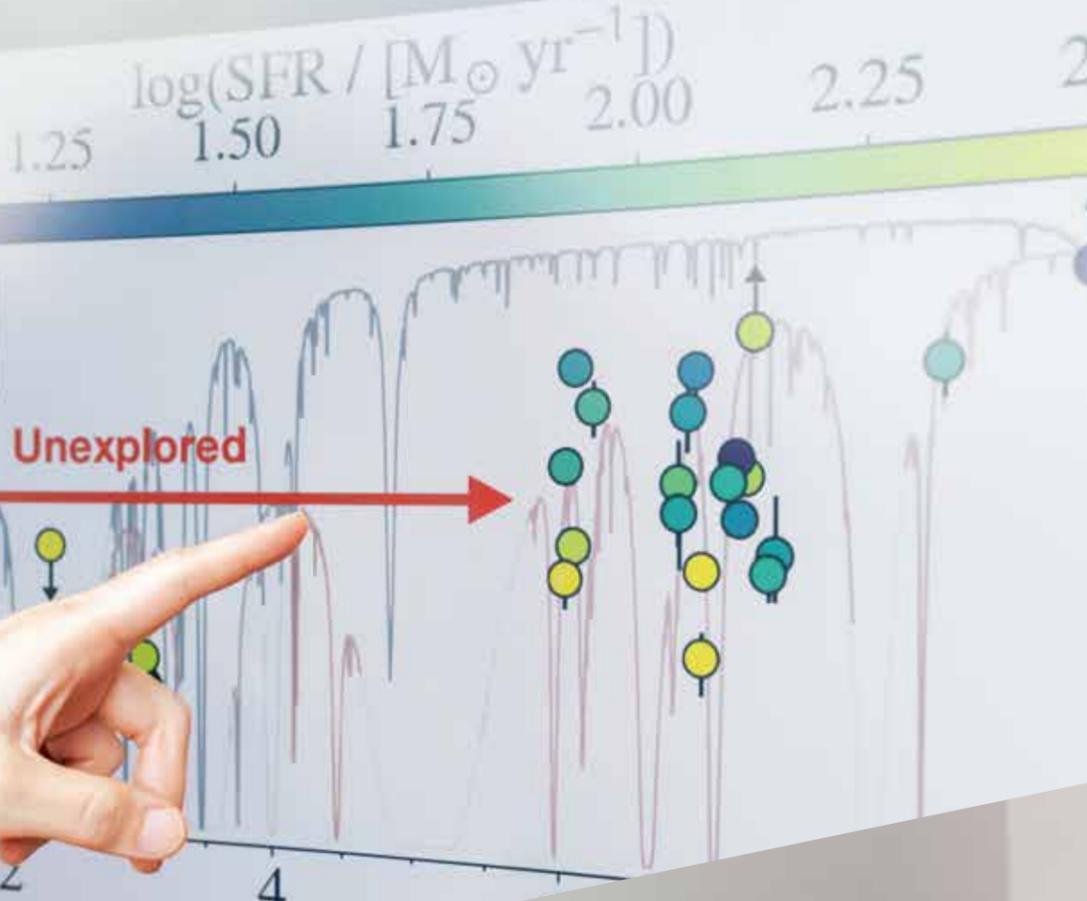
AERA が書く 研究者の素顔

研究者は普段どのような一日を送り、研究に取り組んでいるのか。学問との出会いや、探究の原動力は何だったのか。人物、スポーツ、文化、政治、経済、事件…幅広いジャンルを取材するAERA記者が研究者の素顔に迫ります。

[AERA]
「時代」をキーワードに独自の切り口で描くニュース週刊誌。国内外の重大ニュースから身の回りの小さな出来事まで「時代」を敏感にキャッチし、独自の視点で掘り下げた記事をお届けしています。

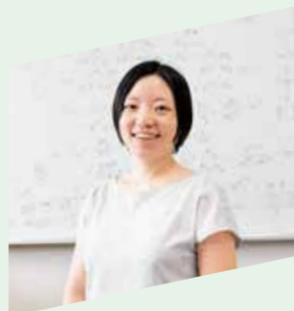
Unexplored

世界最高の望遠鏡で
約131億年前の銀河を発見。
宇宙の進化の謎を解き明かす。



稲見華恵 助教

宇宙科学センター



いなみ・はなえ／2007年、明治大学理工学部物理学卒業。総合研究大学院大学で宇宙科学を専攻。同大学院在学中から米国カリフォルニア工科大学スピッツァー・サイエンス・センターの研究チームに加わる。2012年、博士号(理学)取得。米国・国立光学天文台(当時)、フランス・リヨン天文物理学研究センターの研究員を歴任。2019年から広島大学宇宙科学センター助教。

銀河やダスト(塵)が発する 赤外線を観測する

子どものころ、石垣島で満天の星を見た。たくさんの星が輝いている。どれも同じ色ではない。赤っぽい星もある。「宇宙では一体何が起きているんだろう」と疑問に思った。その原体験が、宇宙の謎を解き明かしたいという今の研究につながっていると稲見華恵助教は振り返る。

専門は赤外線天文学だ。星の集まりである銀河や宇宙空間に存在するガス、ダスト(塵)が発する赤外線を観測する。

「星が生まれる場所にはガスやダストがたくさん存在します。それを観測することで、どれだけ新しい星が生まれているかを調べることができます。また、宇宙の遠くを見るには、人間の目で見ることができる可視光線ではなく、波長の長い赤外線による観測が必要になってくるのです」

稲見助教らの研究チームはこれまで、2021年に打ち上げられた世界最高の解像度と感度を持つジェームズ・ウェッブ宇宙望遠鏡や、南米チリのアルマ望遠鏡を使い、いくつもの研究成果を上げてきた。合体途中の銀河が発するエネルギー源の場所を世界で初めて特定した。また、宇宙は約138億年前のビッグバンで始まったと考えられている中、当時これまで観測された中で最古となる約131億年前の、大量のダストに埋もれた銀河を発見した。

初期宇宙に大量のダストが 存在する謎を解きたい

「ダストは星が死ぬ時にガスと共に周辺にばらまかれます。そして、大量のガスとダストが集って、また新しい星が生まれる。まだ若い星が多い宇宙の極初期に、なぜそんなに大量のダストがあるのか、その謎を解きたいですね」

一つの謎を解くとまた新しい謎に出くわす。謎の連鎖が研究の楽しさだ。宇宙はどうやって生まれ、どのように進化して、今我々が生きている地球ができたのか。100億年を超えるスケールで解き明かすことが究極の目標だ。

世界中の天文学者から観測申請があるジェームズ・ウェッブ宇宙望遠鏡のような最新鋭の望遠鏡を使うには、観測計画などを詳しく記載したプロポーザル(提案書)を提出し、審査に通らなくてはならない。学生にとってプロポーザルの提出はハードルが高い。一方で、広島大学宇宙科学センターは光学赤外線望遠鏡「かなた」を持っているため、研究者だけでなく学生も毎晩のように観測できる。

「学生は自分で観測計画を立て、実際に観測し、得られたデータを自分で解析することができます。また、観測に使う装置を作ったり、自動観測のためのソフトウェアを開発したりもします。天文学を中心に総合的な能力を培うことができるのが広島大学の良さですね」

天文学は国際性が高い学問のため、学生のころから世界中の研究者と交流できるメリットがあるという。

自分に嘘をつかず 選んだ道を進んでほしい

学生に対しては、「自分のやりたいと思うことを諦めずにやってほしい」と強調する。自身、大学では物理学を専攻した。宇宙に関しては口ケットや人工衛星の開発など工学系に進む道もあったが、理学系の天文学を選び、世界的な研究業績を上げてきた。

「特に女性は理系に向かないと言われがちですが、絶対にそんなことはありません。誰でも理系の道を進みたいのであれば、自分に嘘をつかず、まっすぐ進んでほしいですね」

2032年までに打ち上げられる米航空宇宙局(NASA)の遠赤外線望遠鏡計画PRIMAへの参加を目指す日本の研究グループの代表も務めるなど多忙な毎日だ。休日には近くの山をハイキングしたり、料理をつくったりしてリフレッシュする。まだロープウエーでしか行ったことがない宮島の弥山に自分の足で登りたいという。

取材・文／朝日新聞出版 西島 博之



- 1 標高5,000mの南米チリ・アンデス山脈にあるアルマ望遠鏡サイトを訪ねた時の様子
- 2 屋久島の「くぐり杉」の下で。忙しい日々の合間で自然豊かな場所に癒やされる

世界の大学が集結 平和と持続可能性を議論する学長会議を開催

広島大学主導で 初の平和学長会議が実現

2024年8月6日、広島大学東千田キャンパスのSENDA LABにて、平和学長会議が初めて開催されました。この会議には、本学が主導する平和学長宣言の趣旨に賛同した世界7カ国・地域10大学（本学を含む）から、学長や副学長など約30人が参加。持続可能な世界平和に向けた大学の役割について討議しました。

会議に先立ち、参加者は平和記念式典に参列し、原爆の犠牲者を追悼。その後、広島大学東千田キャンパスに移動し、本学原爆死没者追悼式や平和企画にも参加しました。



原爆死没者追悼式で献水する様子

そして、午後には越智学長のあいさつで平和学長会議が開会。越智学長は、「今、我々大学が果たすべき役割は非常に重要です。異なるバックグラウンドを持つ世界中の学生が、国際交流を通じて共に学び議論することで、多様な文化や価値観を超えて、世界全体の平和の実現が可能になると信じています」と述べました。また、松井一貴広島市長も駆けつけ、平和に向けた対話の重要性と大学との連携

強化を訴えました。

平和実現に向けた 大学の役割

会議では、各大学の学長らがそれぞれの平和活動や持続可能性に向けた取り組みを紹介。本学の金子慎治理事・副学長（グローバル化担当）は、原爆の実相を世界の学生や若手研究者に共有し、平和や持続可能性に関する国際交流機会の創出を目指す取り組みを提案しました。

これに続き、ラウンドテーブルディスカッションでは、各大学からさまざまな意見が出され、白熱した議論を展開。例えば、インドネシアのハサヌディン大学は「目標達成の手法はいくつかあっても、同じ目標を共有することが重要だ」と述べ、平和学長会議の意義を強調し、具体的な行動を促す意欲を示しました。さらに、アメリカのアイダホ大学は「シンプルな目標に集中することで早期の成功が得られる」と述べ、他大学との連携の重要性を訴えました。



会議の終盤には、「平和学長宣言」が越智学長により読み上げられ、採択されました。宣言文には、世界の学生が広島を訪れ平和を学ぶ重要性や、持続可能性の観点などの会議の内容が盛り込まれました。閉会后、学長らは固い握手を交わし、今後の連携強化を誓約。8月6日に世界の主要大学の学長らが一堂に会し、持続可能な平和への対話を続ける強い意志を確認できたことは、参加大学から高く評価されました。各大学の学長らは初めて広島を訪れた方も多く、実際に広島で平和について学ぶことの重要性を実感していたようです。今後も世界に平和学長会議の輪を広げていきます。



75+75周年を締めくくる 記念式典・記念事業を実施

大学の歴史を振り返り 100年後の未来を見つめる

11月2日・3日の2日間にわたって、広島大学創立75+75周年「記念式典・記念事業」を開催しました。サタケメモリアルホールをメイン会場として、岸田文雄前首相や文部科学省高等教育局の伊藤学司局長をはじめ多くの方々にご臨席いただき、学内講師による講演や教員・学生による合唱・演奏などのイベントを実施。本学の歩みを振り返り、地域の皆さまに感謝を伝える式典となるよう企画しました。



佐藤優氏

1日目は記念動画の上映で幕が上がりました。越智学長による開式あいさつでは本学の歴史や平和を実現するための大学の役割に触れた後、「これまでに頂戴した皆さまのご支援に感謝すると共に、皆さまと手を携えながら『100年後にも世界で光り輝く大学』に向かってチャレンジしていく」と意欲を見せました。

続いて、統合報告書2024の報告会や、作家（元外務省主任分析官）の佐藤



優さんと、総合地球環境研究所所長（前京都大学総長）の山極壽一さんによる記念講演が開かれました。佐藤さんは「西洋の道徳的危機に直面する今日の日本」について、山極さんは「教育の本質と国立大学の未来」について講演。来場者からは「平和の実現のためには、情勢を多領域から分析して捉えることが重要だと考えさせられた」「生徒が興味関心のある世界へチャレンジできるよう、講演内容を教育現場に還元したい」といった感想が寄せられました。本学卒業生であるアンガールズの田中卓志さんのトークショーも、司会の久保田夏菜さんと越智学長を交えながら大いに盛り上がりました。

大学祭も同時開催 大いにぎわう

2日目は教育学部音楽文化系コースの学生が金管十重奏を披露。元気の出る明るい曲目でスタートしました。本学教員によるLOOK広島大学（先端研究講演）では、藪田ひかる教授と高橋徹特定教授が登場。宇宙をテーマにしたロマンある話に、参加者は熱心に聞き入っていました。記念講演には、日本人女性初の国連事務次長・中満泉さんをお迎えし、「未来へ～平和で希望に満ちた世界を創る～」というテーマでお話しされました。来場者からは「世の中を少しでも良くしていけるように行動したい」などの前向きな意見もありました。



キャンパス内ではホームカミングデーや大学祭も同時開催され、約3万人の来場者でにぎわいました。卒業生や元教職員、地域の方々に、本学が育んできた伝統と新たな未来を示した記念式典・記念事業。広島大学は、これからも飛躍し続けます。



中満泉氏



岸田文雄氏



森表 直哉さん
(もりひょう・なおや)
工学部第一類 4年
留学先:オーストラリア
利用したプログラム: HUSAプログラム

森表 直哉さん
(一番右)

留学体験記

積極的に周囲を巻き込むことで
人間関係を深め
英語力を向上できた

英語力を向上させ、海外で生き抜く力を身に付けたいという思いから、留学を決意しました。留学中に一番力を入れたのは生涯の友人を作ることです。英語力のない自分がどうやって存在感を示すか。考えついたのが、毎週末、自ら料理を作ったりBBQを企画したりして友人を招くことでした。自分から積極的にイベントを提案し、相手を巻き込むことで、自然に人とのつながりが深まっていきました。帰国の際には盛大な送別会を開いてくれ、今でも手紙を送ってくれるなど、生涯にわたる大切な友人たちに出会うことができたと実感しています。留学中にレストランでのアルバイトも経験。英語力の向上だけでなく、海外での生活に対する自信もつきました。留学での経験を通じて、英語という伝える“手段”は修得できましたが、伝える“内容”、つまり他人に価値を提供できる知識を身に付ける必要性を感じました。今後は大学院に進学し工学分野の研究に取り組むことで、自分自身をより磨いていこうと考えています。

By actively engaging with others, I built deeper bonds and improved my English skills.

I decided to study abroad because I wanted to improve my English and learn to survive overseas. The most important thing I focused on during my study abroad was making lifelong friends. How could I make my presence felt if I did not have English skills? I came up with the idea of inviting my friends over every weekend by cooking and organizing BBQs by myself. By proactively proposing events and getting others involved, I was able to naturally deepen my relationships with people. When I returned to Japan, they held a grand farewell party for me, and they still send me letters to this day. I feel that I was able to meet some of the most important friends I will have for the rest of my life. I also experienced part-time work at a restaurant during my study abroad. Not only did I improve my English skills, but I also gained confidence in living abroad. Through my study abroad experience, I was able to acquire the “means” of communication—English—but I felt the need to develop the “content” I could convey; in other words, the knowledge that would allow me to provide value to others. In the future, I intend to further deepen my knowledge by entering graduate school and conducting research in the field of engineering.

福屋八丁堀本店で
「—あの頃—広島大学創立75+75周年写真展」を開催

時を超えた
広島大学の軌跡をたどる

2024年8月22日から27日にかけて、広島市の福屋八丁堀本店7階催場にて、広島大学校友会主催の「—あの頃—広島大学創立75+75周年写真展」を開催しました。通常、写真展は東広島キャンパスなどの大学施設内で開催されることが多いため、一般の方が目にする機会は限られていましたが、今回は広島市中心部での開催となり、多くの方に足を運んでいただける場となりました。

写真など、大学の変遷を示す貴重な写真が展示されました。

展示を前に
昔の風景を懐かしみ
思い出話に花が咲く

初日には、オープニングで本校校友会会長である、越智学長があいさつしました。



森戸辰男初代広島大学学長のエピソードを交えながら「学外でこのような展示ができてうれしい。一般の方にも見てもらい、今後も大学をPRしていきたい」と語りました。また、共催者である広島大学体育会同窓会の山根恒弘会長、広島大学・千田塾の山坂哲郎会長も出席し、それぞれが自身の思い出や卒業生へのメッセージを述べました。

1874年の白鳥学校創立からの歴史と歴代学長の写真を掲載したパネルを展示。また、本学の歴史を物語る69点の写真が年代順に紹介され、1875年の広島県公立師範学校の写真から2026年に完成予定のワクチン医薬品製造拠点の完成予想図まで網羅されています。各時代を象徴する場面や、当時のキャンパスの

この6日間の展示期間中に、1,238人が来場。来場した卒業生は、在学中のキャンパスや行事の写真を懐かしむ一方で、最近のキャンパスの変化に興味深く見入っていました。また、卒業生同士で、当時のキャンパス周辺の千田町・鷹野橋界隈の思い出話で盛り上がる場面も見られました。



(写真左から)広島大学・千田塾の山坂哲郎会長、越智学長、体育会同窓会の山根恒弘会長



一般の来場者からは、「子どもの頃、東千田キャンパスで遊んだことが懐かしい」や、「あの頃の風景が思い出される」といった声が聞かれ、個々の思い出が語られる温かな雰囲気広がっていました。さらに、東千田キャンパスに本部が置かれていた頃の森戸道路を臨む校門のスクリーンと、当時設置されていた「広島大学」の金属板は、特に人気のある撮影スポットとなり、多くの同窓生が記念撮影を楽しむ姿が見られました。この写真展は、本学の過去と現在をつなぐ貴重な場となり、訪れた多くの人々に本学の歴史を再認識していただく機会となりました。



森戸道路を臨む校門のスクリーンと当時の門柱の「広島大学」の金属板

図書館!



広島大学を日々支えるオフィスセンター。その業務の内容に迫ります。



図書館長が質問にお答えします。
図書館長 川島 優子

Q1 図書館の主な業務内容について教えてください。

A. 皆さんによく知られているのは、大学の教育や研究活動を多方面から支援しています。また、最近で
カウンターでの貸出・返却対応だ
から支援しています。また、最近で
と思います。それ以外にも、電子
は学術論文をオープンアクセス
ジャーナルやデータベースの提
にする際に必要な論文公開費用
供、研究成果のWeb公開、資料の
の補助に関する業務など、今まで
デジタル化、講習会の実施など、
になかった業務も行っています。

Q2 特徴やPRポイントを教えてください。

A. 図書館から発展したライティングセンターでは、卒業論文などのライティング
相談を行っています。学
習と研究の両面から
生・研究者を支援する先
進的な取り組みです。



Q3 学生や教職員とはどのような関わりがありますか?

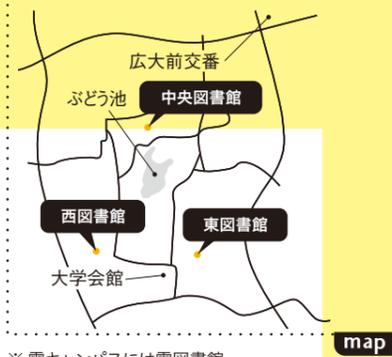
A. 利用者としての関わりはもちろん、図書館資料の選定、資料入手に関する調査相談、講習会の開催など、さまざまな支援を行っています。広島大学図書館サポーター(HULS)の学生には、図書館運営にも協力してもらっています。

Q4 学内の他の図書館や地域の図書館とどのように連携していますか?

A. 学内の図書館同士は、資料の取り寄せなどで日常的にやりとりしており、合同展示企画も実施しています。研修や講演会の開催などで、県内公共図書館や他大学図書館と連携することもあります。

Q5 現在、注力している取り組みや今後の展望を教えてください。

A. 研究支援の面では、図書館で管理・運営しているリポジトリシステム(学内の研究成果物をインターネット上で公開するシステム)を活用し、研究成果の迅速な公開に向けた対応を進めています。また、教育支援の面では、図書館が持つ豊富な資料や専門スタッフによるサポートを生かし、語学学習スペースの整備や英会話イベントの実施など、国際的な学びの場の提供にも力を入れています。図書館がグローバルな視野を持つ人々の集う場となることを目指しています。



map
※霞キャンパスには霞図書館、東千田キャンパスには東千田図書館があります。

HIRO-DAI HEROINES

キャンパスで、地域で、チャレンジする広大学生を紹介

HERO 35 Rabemananjara Miora さん
(ラベマナンジャラ ミウラ)
大学院医系科学研究科博士課程前期 1年

日本で感じた文化の調和を広く共有したい
マダガスカルから日本に来て体験した文化や生活について、日本語を用いて多くの人々に共有したいと思い、留学生を対象とした日本語スピーチコンテストに参加。来日前にイメージしていた日本の“静けさ”と、実際の生活で感じた“にぎやかさ”の調和をテーマに、電車のアナウンスや麺をすする音などの具体例を交えてスピーチした結果、最優秀賞を受賞しました。広島大学では植物や生物から抽出した化合物を、がんや感染症の治療に役立てる研究をしています。先生方と研究室の仲間のおかげで、異文化に戸惑いながらも日本文化への理解を深め、視野を広げることができました。身に付けた日本語力や広島大学で培った専門知識を生かし、マダガスカルと日本の懸け橋として両国の発展に貢献していきたいです。



マダガスカル語で「平和」と書かれた「平和の門」の前で
お気に入りの場所は、霞キャンパスのプラザみどり

お気に入り講義:
English health communication

英語を母国語とする先生から、医療分野で求められる英語のスキルを実践的に楽しく学べます。



HERO 36 岡田 俊介 さん
(おかだしゅんすけ)
総合科学部総合科学科 4年

デュアスロン世界選手権U23で8位入賞!
2024年8月にオーストラリアで行われたワールドトライアスロンマルチスポーツ選手権デュアスロンU23の部で8位入賞を果たしました。デュアスロンとはトライアスロンのスイムをランに変えた競技で、スイムが苦手でもランが得意であれば上位入賞が狙えます。私は高校時代の陸上経験を生かしつつ新しい挑戦ができると考え、大学ではトライアスロン部に入部。トライアスロンと並行してデュアスロンにも取り組んでいます。普段の練習では、体の使い方や練習の強度を意識し、実際のレースをイメージしながらトレーニングすることを心がけています。今回、目標としていた8位入賞を達成できましたが、レース内容としては海外選手との差を痛感。今後も、さらに高みを目指し、競技を通じて学び、成長を続けていきたいと考えています。



2023年も世界選手権に出場
自転車で街を駆け抜けます

お気に入り講義:
脳機能学

学科では生命科学の分野に所属。日常生活での疑問と脳の仕組みのつながりが分かるため、興味深い授業です。



特別企画 //

写真で振り返る 75+75周年事業

広島大学は、最も古い前身校の設立から現在の本学誕生までに75年、そして2024年に創立75周年を迎えました。合わせて150周年を迎えたことを記念し、2023年から117の事業を実施しました。その中から、6つの事業を写真で振り返ります。



1 吉永小百合原爆詩朗読会 -非戦・非核を願って-



2023/11/23

吉永小百合さんの原爆詩の朗読と村治奏一さん(写真最右)の奏でるギターの音色に、改めて平和の尊さを考える大変貴重な機会になりました。



2 ラッピング電車・バスのお披露目



2024/1/15

デザインは学内公募。クラウドファンディングで実現しました。約1年間、広島の街を走り、多くの皆さまに感謝を伝えました!



3 フラワーフェスティバルで 記念パレード

2024/5/3

「花の総合パレード」に初参加! お揃いのグリーンTシャツに身をつつみ、みんなで広島の街を盛り上げました。



4 カープスponsoredゲーム 「広島大学75+75周年 これからも広島とともに! フェニックスナイター」

片山春菜助教による始球式



2023/5/17

学内応募約6倍という高倍率を勝ち取った約250人の学生・教職員が観戦しました。大学病院から小児患者さんも招待。試合はカープが2対0で快勝しました!



5 広島大学in東京



2024/9/21-22

さまざまな分野からの著名人を講師としてお迎えしました。パネル展やフォトコーナー等もあり、来場者は総勢400人超え!



ティムラズ・レジャバさん (駐日ジョージア特命全權大使)

6 記念式典・記念事業 (第18回ホームカミングデー・第73回大学祭)

2024/11/2-3

大学祭と合同で盛大に開催。夜には打ち上げ花火も上がり、「広島大学創立75+75周年」のフィナーレにふさわしい式典となりました。



佐藤 優さん (作家・元外務省主任分析官)



山極 壽一さん (総合地球環境学研究所 所長)



田中 卓志さん (アンガールズ/広島大学工学部卒業)



中満 泉さん (国連事務次長・軍縮担当上級代表)



HU TOPICS

2024.8
|
2024.11

今号は特別に、各学部・部局が行った75+75周年事業をピックアップして紹介します。

学部情報 / 大学院情報

大学の動き

国際同窓会を初めて開催

11月1日、国際同窓会「広島大学グローバルユニオン2024」を初めて開催しました。8つの海外校友会の会長・副会長をはじめ、23カ国から約60人の国際同窓生が参加し、さらに留学時代に彼らを支えたホストファミリーや指導教員、友人など総勢130人が集まりました。本学初の大規模な国際同窓会は、越智学長のあいさつで幕を開けました。その後、広島大学のオリジナルグッズが当たるじゃんけん大会や、学部・所属別の記念撮影も行われ、会場は大いに盛り上がりました。久しぶりの再会や新たな出会いを楽しむ笑顔があふれ、次の再会を約束する場面も多く見られました。



大学の動き

宇宙科学センター

設立20周年記念講演会を開催

10月27日、京都大学特定教授で宇宙飛行士の土井隆雄氏と、YouTubeチャンネル「予備校のノリで学ぶ『大学の数学・物理』」で知られるヨビノリたくみ氏による講演や、「宇宙の平和利用を考える」と題したパネルディスカッションを開催しました。会場のサタケメモリアルホールには学内外からおよそ350人が集まり、熱心に聞き入っていました。



大学の動き

池谷裕二先生特別講演会

(第18回広島大学ホームカミングデー)を開催

10月26日、東京大学大学院薬学系研究科教授で脳科学者の池谷裕二先生をお迎えし、特別講演会(第18回広島大学ホームカミングデー)を霞キャンパスで開催しました。池谷先生には、「潜んだ能力を開拓する脳補完プロジェクト」というテーマで、ご自身が代表を務める「ERATO 池谷脳AI融合プロジェクト」での取り組みの紹介や、「脳」と「AI」の得意分野の違い、「やる気」と脳・身体との関係性、生成AIとの付き合い方などについてお話いただきました。当日は同窓生、在学生、教職員、一般市民など、およそ300人が参加し、池谷先生のユーモアを交えた分かりやすい講演に、熱心に耳を傾けていました。参加した方からは、「非常に有意義な時間でした」「AIに対する勘違いや思い込みに気付くことができました」といった感想が寄せられました。



大学の動き

東千田キャンパスで

ホームカミングデーと千田祭を開催

10月26日、東千田キャンパスにおいてホームカミングデーおよび大学祭「千田祭」を開催しました。ホームカミングデーで記念講演された、河上正二名誉教授(東京大学、東北大学)のお話には、学生のみならず一般の方も聞き入れ大変有意義なものとなりました。東千田キャンパスでは久しぶりの開催となった「千田祭」が近隣の東千田公園も利用して開かれ、ステージではアイドルグループのSTU48も登場し、盛り上がりました。さらに、2024年創立100周年を迎えた千田小学校の児童の皆さんと共同制作したペットボトルのキャップアートの展示や学生のダンスサークルと小学校のダンス部による共演も行われました。その他、旧理学部1号館の現地説明会や、防災・減災セミナーも併せて開催され、多くの近隣の方々に参加いただき、盛況のうちに終了しました。



総合科学部

総合科学部創立50周年記念式典 ならびに同窓会大会の御礼

8月10日、ANAクラウンプラザホテル広島において創立50周年記念式典・記念講演・祝賀会ならびに同窓会大会を開催し、盛会のうちに終えることができました。一方ならぬご支援とご協力をいただきましたことを心より深く感謝いたします。



経済学部

公開シンポジウム 「地域の挑戦『新しい価値創造と 社会課題解決』」を開催

9月20日、経済学部附属地域経済システム研究センター主催の公開シンポジウムを開催。産学官からさまざまな分野のゲストをお招きして地域企業や地方銀行が目指すべき新しい価値や社会課題解決について議論し、活発な意見交換が行われました。



文学部

記念講演会を開催

10月14日、大河ドラマ「光る君へ」の建築考証を務める三浦正幸名誉教授をお招きしました。卒業生・修了生が多数来場し、同窓生や恩師との再会を喜ぶ和やかな雰囲気の中始まりました。講師の巧みな話術により会場を笑いながら平安時代の世界へとといざなわれました。



理学部

映画「太陽の子」上映＆ パネルディスカッションを開催

8月3日、東広島芸術文化ホールくららにて開催したイベントには、猛暑の中多数の方々に足を運んでいただきました。貴重な資料を交えた内容とパネリストの深い見解を通じて、科学と平和について共に考えるかけがえのない時間となりました。



歯学部

畠賢一郎氏講演会

「患者さんご自身の細胞を使った医療への挑戦—再生医療の実用化に向けて—」を開催

歯学部卒業生でわが国初の再生医療等製品を上市したジャパン・ティッシュエンジニアリング代表取締役社長執行役員の畠賢一郎氏をお招きし、医療現場と企業が胸襟を開いて連携することの重要性についてお話しいただきました。



工学部

工学部学生による「ものづくり」の 成果を展示

8月8・9日、以下の3つのイベントを開催し、工学部学生による「ものづくり」の成果をご観いただきました。①オリジナルフォーミュラカーを作ってみよう②人力飛行機の機体展示と飛行機教室③学生による建築設計コンペ案実作展示(写真) / 学生グランプリ 2023 銀茶会の茶室最優秀賞作品



情報科学部

「デジタルトランスフォーメーション (DX)と地方創生」を開催

8月8・9日、地域の方々や未来を担う高校生に向け、地方創生の鍵を握るDXをテーマに講演イベントを2日間にわたり開催しました。広島県副知事、企業のDXリーダー、大学教授が語る最前線の知見やプログラミング体験を通じて、次世代の技術に触れてもらいました。



人間社会科学部

「地域を世界につなぐ、過去を未来につなぐ、 人と人をつなぐウィーク」を開催

10月21～27日、ホームカミングデー開催週の前1週間を「地域を世界につなぐ、過去を未来につなぐ、人と人をつなぐウィーク」と位置づけ、教育学部の国際コンソーシアムINEIの加盟大学(メルボルン大学やトロント大学など)を招いて、平和教育に関する国際シンポジウムや大学生・中高生を巻き込んだ交流イベントを開催しました。



先進理工系科学研究科

HIRODAIとマツダ財団が贈る 先進サイエンスサロン(特別版)を開催

11月2日、広島大学とマツダ財団が贈る先進サイエンスサロン(特別版)として「カーボンニュートラル社会とロータリーエンジン復活が描く電動化の将来」をテーマに講演とパネルディスカッションを行いました。



統合生命科学部

記念講演会 「身近な食品の先端科学・技術 —マグロから牛乳まで—」を開催

11月2日、本学部前身の卒業生である近畿大学水産研究所長の升間主計特任教授に「養殖」、本学部附属農場長の杉野利久教授に「酪農」に関してご講演いただきました。大雨により升間特任教授は急遽オンラインとなりましたが、卒業生も多く訪れ、質疑応答も活発に行われました。



スマートソサイエティ実践科学部

IDEC×SmaSo Open Day 2024 ～From the world to Hiroshima～を開催

11月2日、IDEC国際連携機構とスマートソサイエティ実践科学部(SmaSo)のOpen Dayを開催しました。国際色豊かな本学のIDEC系プログラムとSmaSoに所属する学生が、ダンスパフォーマンス等を通してそれぞれの出身国の文化を披露し、にぎやかな1日となりました!



新入生お助け&お役立ち情報!

大学進学を機に一人暮らしを始める新入生を応援する、さまざまな大学の取り組みを紹介します。

取材を担当した学生広報ディレクター

- さかもと そうわ
経済学部3年 坂本 蒼和さん
- ないとう すずか
総合科学部総合科学科1年 内藤 涼花さん
- テウア デズモンド コフィ
大学院人間社会科学部研究科博士課程後期1年 Tawiah Desmond Kofiさん
- はやし れい
法学部3年 林 玲衣さん
- みやのまえ なみ
総合科学部総合科学科1年 宮ノ前 那海さん

広島のおいしいを新入生に届ける #ようこそ広大プロジェクト

2022年より地元スーパーフレスタ様にご協力いただき、「広島のおいしい」を詰め合わせた食料品を届ける取り組み「#ようこそ広大」を行っています。2024年度は、2年生の学生2人が選んだ詰め合わせが約550人の学生に届けられました。

\\ 詰め合わせを考えた長谷川さん、増田さんに聞きました //



長谷川 理子さん
教育学部第一類2年

1年生の時に詰め合わせをもらった感想は?

もみじ(学生ポータルサイト)から申し込むだけで無料の食料品が届くので、もらわない手はないと思いました。詰め合わせは想像以上に豪華な内容で、お好みソースなどもあり広島県に来た実感が得られました。

一人暮らしを始めたばかりでホームシックになっていた時期に詰め合わせを受け取り、地域や社会の温かさを実感しました。特にレモンカルボナーラ味の pastaソースがおいしくて印象に残っています。

増田 麗音さん
教育学部第三類2年



2年生ではどのようなことを意識して商品を選びましたか?

野菜ジュースや無洗米などの実用的なものはもちろん、フルーツティーなどの普段自分では買わないものも選び、ワクワク感を大事にしました。

一人暮らしでは手を出しづらい、甘いお菓子などを入れるようにしました。今後は男性目線の意見も取り入れて商品選びをする必要があると感じました。

広大生限定! キャンパスワークでアルバイトを探そう

広島大学生協では、「キャンパスワーク」というアルバイト紹介サイトを運営しています。厳選した求人情報を掲載しているので、初めてアルバイトに挑戦する学生の皆さんも安心して働けます。



サイトを Check!



\\ 生協に聞きました //

キャンパスワークを運営することになったきっかけは?

従来キャリアセンターが行っていたアルバイト紹介を生協に移管し、2009年6月から運営しています。キャンパスワークは学内外問わずさまざまなジャンルのアルバイトを紹介しており、学生にアルバイトを通じて社会経験を積む機会を提供しています。

75+75周年を記念して、単行本2冊を発刊

22世紀の教養論

VUCAの時代を生きる君たちへ

文学や科学、外交、ジャーナリズムなど各界の第一線で活躍されている8人の有識者と越智学長との対談を一冊にまとめました。先行き不透明な現代における人生の羅針盤となる「教養」とは何かを問う一冊です。

〈書籍情報〉
編著: 越智光夫(広島大学長)
出版社: 中央公論新社
定価: 税込1,980円
本学の各キャンパスの生協売店や全国の主要書店、Amazonで販売中。



ヒロ子さんと巡る

広島大学

越智学長が女子高生のヒロ子さんを案内しながら、広島大学の歴史や特色、最新の研究を紹介する漫画です。島耕作シリーズで知られる漫画家の弘兼憲史氏の作画で出来上がりました。

〈書籍情報〉
作画: 弘兼憲史・ヒロカネプロダクション
出版社: 広島大学出版会
定価: 税込1,000円
本学の各キャンパスの生協売店や広島県の主要な書店、Amazonで販売中。



Reader's View

HU photos

Instagramで#広島大学の付いた投稿からお届けします。



2024.10.23
#紅葉スポット
#紅葉
#広島大学

投稿者:tuyopn さん



2024.11.03
#広島大学大学祭
#広島大学写真部

投稿者:jst.03.110 さん

投稿募集中心!
HU photos

広島大学にまつわる写真を#広島大学を付けてInstagramに投稿してください。テーマは何でもOK! 素敵な写真をお待ちしています。



投稿が掲載された方には

広島大学オフィシャルグッズ「トートバッグ」をプレゼント!

※デザインは選べません。

WEBアンケートにご協力ください

読者の皆さまからのご意見、ご要望、情報提供をお待ちしております。

いただいたアンケート内容は、今後の誌面づくりに活用させていただきます。



WEBアンケートはこちら

HU-plus 検索

読者プレゼント

アンケートにご回答いただいた方の中から抽選で合計5名様にプレゼント!!

※応募締切:2025年3月31日必着 厳正な抽選の上、商品の発送をもって当選の発表にかえさせていただきます。

A 対談集

『22世紀の教養論 VUCAの時代を生きる君たちへ』
越智光夫(広島大学長)編著
(中央公論新社)



1名様

B 漫画

『ヒロ子さんと巡る広島大学』
弘兼憲史・ヒロカネプロダクション作画
(広島大学出版会)



3名様

C HUオリジナルグッズ「ドライTシャツ」Lサイズ



1名様

詳しくはこちら▼

東広島市のふるさと納税返礼品に広大グッズが登場!
HUドライTシャツ、東広島キャンパス内で伐採されたアカマツ古木を使用した万年筆の2種類です。



もみじ 優しい 糖類を控えた 美味しい 甘さの 饅頭です

〔広島大学産学連携商品〕
◎広島銘菓 もみじ饅頭Light
糖類50%オフ もみじ饅頭Light(ライト)は、たくさんの方に美味しく食べていただきたい、という思いから生まれました。

糖類50%off
※当社「もみじ饅頭」と比較(1個当たり) ※大アレルゲンフリー

広島大学産学連携商品
糖類病・生活習慣病予防医学

6個入/10個入

にしき堂 〒732-0052 広島市東区光町1丁目13番23号
フリーダイヤル 0120-979-161

OTAFUKU

「和やかなひとときのそばに。」

毎月10日はお好み焼の日

2024年 広島大学75+75周年記念
150th
広島大学 弁当

学生のアイデアをもとに 広島大学ゆかりの食材を贅沢に詰め込みました

- 白飯の花カラダソルト
- カワレとじゃこのお浸し
- クロダイのムニエル
- タコのお好焼風キッシュ
- 八朔銘菓せとこまち

広島大学 × ひろしま駅弁

◎ご注文は右記 広島駅弁当 EC サイトから
※売上の一部は広島大学基金へ寄付されます

広島大学への寄附にご協力いただき、深く感謝申し上げます。

広島大学基金

※広島大学が躍動し広島のを活性化させる基金
(広島大学75+75周年に向けて)・応急学生支援金を含む

高額のご寄附をいただいた方(2024年9月まで)

●個人10億円以上 法人20億円以上

佐竹 利子 様
「特別栄誉学賞」

●個人5億円以上 法人10億円以上

岡田外科医院 様
「栄誉学賞」

●個人5000万円以上 法人1億円以上

公益財団法人
広島大学教育研究支援財団
理事長
佐竹 利子 様
株式会社 サクエ 様
「学賞」

一般財団法人緑風会 様
「学賞」

財団法人渋谷育英会
理事長
小丸 法之 様
「学賞」

池田 英明 様
「学賞」

矢野 博文 様
「学賞」

●個人1000万円以上 法人2000万円以上

医療法人社団 浜中皮ふ科クリニック
理事長
浜中 和子 様
「名誉校友」

畫馬 輝夫 様
「名誉校友」

医療法人あかね会
理事長
土谷 治子 様
「名誉校友」

株式会社広島銀行
代表取締役頭取
部谷 俊雄 様
「名誉校友」

医療法人社団 మరిもり会
ヒロシマ平松病院
会長
平松 廣夫 様
「名誉校友」

医療法人 たんぽぽ会
理事長
大嶋 俊一 様
「名誉校友」

小野 光代 様
「名誉校友」

医療法人社団 昭信会
頼島産婦人科病院
理事長
頼島 信 様
「名誉校友」

医療法人社団 ヤマナ会
会長
山名 征三 様
「名誉校友」

理事長
山名 二郎 様
「名誉校友」

東洋観光グループHD
日本基準寝具株式会社
代表取締役
今井 誠則 様
「名誉校友」

勝矢 博 様
「名誉校友」

越智 光夫 様
「名誉校友」

平尾 泰保 様
「名誉校友」

松川 博之 様
「名誉校友」

猫本 宏司 様
「名誉校友」

三嶋 弘 様
「名誉校友」

鶴野 俊雄 様
「名誉校友」

徳永 彰 様
「名誉校友」

星山 政昭 様
「名誉校友」

天野 純子 様
「名誉校友」

児玉 暁子 様
「名誉校友」

田中 隆荘 様
「名誉校友」

●個人500万円以上 法人1000万円以上

オタフクソース株式会社
取締役会長
佐々木 直義 様
「名誉校友」

安田 克樹 様
「名誉校友」

株式会社 紀陽
代表取締役社長
寒川 起佳 様
「名誉校友」

林 淳二 様
「名誉校友」

戸田工業株式会社
代表取締役
山坂 哲郎 様
「名誉校友」

医療法人おち眼科医院
理事長
越智 温子 様
「名誉校友」

株式会社 築地
代表取締役
平尾 真裕美 様
「名誉校友」

医療法人 せのかわ 瀬野川病院
下原 唯千夏 様
「名誉校友」

株式会社 ダイクレ
代表取締役社長
山本 浩 様
「名誉校友」

公益社団法人 内外いへい会
代表理事
高橋 喜人 様
「名誉校友」

医療法人社団 清流会
理事長
永井 賢一 様
「名誉校友」

小島 敬太郎 様
「名誉校友」

株式会社 合人社グループ
代表取締役
福井 滋 様
「名誉校友」

株式会社 ニルサーサービス
代表取締役
濱野上 隆志 様
「名誉校友」

株式会社 メンテックワールド
代表取締役社長
小松 節子 様
「名誉校友」

西川ゴム工業株式会社
代表取締役会長
西川 正洋 様
「名誉校友」

広島ガス株式会社 様
広島信用金庫
会長
武田 龍雄 様
「名誉校友」

三井住友信託銀行株式会社
代表取締役社長
橋本 勝 様
「名誉校友」

河野 修典 様
「名誉校友」

坂下 勝 様
「名誉校友」

バラカ株式会社
代表取締役
内藤 亨 様
「名誉校友」

小林 正夫 様
「名誉校友」

佐藤 利行 様
「名誉校友」

登田 隆 様
「名誉校友」

佐々木 元 様
「名誉校友」

宮崎 成樹 様
「名誉校友」

内池 平樹 様
「名誉校友」

海生 俊史 様
「名誉校友」

邱文揚 様
「名誉校友」

石貴容 様
「名誉校友」

浜中 和子 様
「名誉校友」

藤岡 道治 様
「名誉校友」

田中 隆治 様
「名誉校友」

●個人100万円以上 法人100万円以上

医療法人社団 みめぐみ会
サンククリニック
理事長
中村 雄二 様
「名誉校友」

医療法人 恒和会 松石病院
代表取締役副会長
松石 頼明 様
「名誉校友」

株式会社 紀陽
代表取締役社長
寒川 起佳 様
「名誉校友」

戸田工業株式会社
代表取締役
久保 恒晃 様
「名誉校友」

医療法人 社団 伯瑛会
理事長
寺岡 輝 様
「名誉校友」

越智 温子 様
「名誉校友」

株式会社 村上農園
代表取締役
村上 清貴 様
「名誉校友」

株式会社 ダイクレ
代表取締役社長
山本 浩 様
「名誉校友」

公益社団法人 内外いへい会
代表理事
高橋 喜人 様
「名誉校友」

医療法人社団 清流会
理事長
永井 賢一 様
「名誉校友」

小島 敬太郎 様
「名誉校友」

株式会社 合人社グループ
代表取締役
福井 滋 様
「名誉校友」

株式会社 ニルサーサービス
代表取締役
濱野上 隆志 様
「名誉校友」

株式会社 メンテックワールド
代表取締役社長
小松 節子 様
「名誉校友」

西川ゴム工業株式会社
代表取締役会長
西川 正洋 様
「名誉校友」

広島ガス株式会社 様
広島信用金庫
会長
武田 龍雄 様
「名誉校友」

三井住友信託銀行株式会社
代表取締役社長
橋本 勝 様
「名誉校友」

河野 修典 様
「名誉校友」

坂下 勝 様
「名誉校友」

バラカ株式会社
代表取締役
内藤 亨 様
「名誉校友」

小林 正夫 様
「名誉校友」

佐藤 利行 様
「名誉校友」

登田 隆 様
「名誉校友」

佐々木 元 様
「名誉校友」

宮崎 成樹 様
「名誉校友」

内池 平樹 様
「名誉校友」

海生 俊史 様
「名誉校友」

邱文揚 様
「名誉校友」

石貴容 様
「名誉校友」

浜中 和子 様
「名誉校友」

藤岡 道治 様
「名誉校友」

田中 隆治 様
「名誉校友」

●個人100万円以上 法人100万円以上

医療法人 明笑会
理事長
安本 正徳 様
「名誉校友」

株式会社 総合広告社
代表取締役副会長
坪井 高義 様
「名誉校友」

広島大学 歯学部 同窓会 様
医療法人 小田内科クリニック
理事長
小田 弘明 様
「名誉校友」

医療法人 社団 梶山小児科
理事長
梶山 泰正 様
「名誉校友」

医療法人 社団 陽正会
寺岡記念病院
理事長
寺岡 輝 様
「名誉校友」

越智 温子 様
「名誉校友」

株式会社 村上農園
代表取締役
村上 清貴 様
「名誉校友」

株式会社 ダイクレ
代表取締役社長
山本 浩 様
「名誉校友」

公益社団法人 内外いへい会
代表理事
高橋 喜人 様
「名誉校友」

医療法人社団 清流会
理事長
永井 賢一 様
「名誉校友」

小島 敬太郎 様
「名誉校友」

株式会社 合人社グループ
代表取締役
福井 滋 様
「名誉校友」

株式会社 ニルサーサービス
代表取締役
濱野上 隆志 様
「名誉校友」

株式会社 メンテックワールド
代表取締役社長
小松 節子 様
「名誉校友」

西川ゴム工業株式会社
代表取締役会長
西川 正洋 様
「名誉校友」

広島ガス株式会社 様
広島信用金庫
会長
武田 龍雄 様
「名誉校友」

三井住友信託銀行株式会社
代表取締役社長
橋本 勝 様
「名誉校友」

河野 修典 様
「名誉校友」

坂下 勝 様
「名誉校友」

バラカ株式会社
代表取締役
内藤 亨 様
「名誉校友」

小林 正夫 様
「名誉校友」

佐藤 利行 様
「名誉校友」

登田 隆 様
「名誉校友」

佐々木 元 様
「名誉校友」

宮崎 成樹 様
「名誉校友」

内池 平樹 様
「名誉校友」

海生 俊史 様
「名誉校友」

邱文揚 様
「名誉校友」

石貴容 様
「名誉校友」

●個人100万円以上 法人100万円以上

白築 秀美 様
広島市信用組合 様
三島食品株式会社 様
温泉川 梅代 様
株式会社 Alumnote
代表取締役社長
中沢 冬芽 様
「名誉校友」

医療法人 K&Clover
理事長
小林 健二 様
「名誉校友」

Micron Technology
Foundation, Inc. 様
医療法人 ビーアイエー
理事長
中村 英雄 様
奥田 晃章 様
広島市医師婦人会 様
上 真一 様
医療法人 社団 慈杏会
土肥整形外科病院 様
常石造船株式会社 様
広島大学 歯学部
同窓会 広島県支部 様
広島日野自動車株式会社
代表取締役社長
上野 孝史 様
藤本 吉範 様
丸正産業株式会社
代表取締役
高羽 謙 様
山本 佳史 様
力田 忠義 様
広島大学 総合科学部
同窓会 様
RF 技研工業株式会社
代表取締役
玉村 俊雄 様
木村 栄一 様
相田 美砂子 様
秋野 成人 様
井川 幹夫 様
石井 知行 様
石崎 信三 様
石田 吉樹 様
大東 宣哲 様
中村 昂江 様
吉國 晋 様
アカシア会
(広島大学附属
高校同窓会) 様
竹中 利彦 様
中村 英雄 様
安永 裕司 様
中川 豪 様
医療法人 清泉会
一ノ瀬病院 様
医療法人 たかまさ会
理事長
山崎 正志 様
医療法人 ハートフル
理事長
天野 純子 様
内野 弘 様
江川 和禧 様
道中 美敏 様
三村 邦雄 様
宮本 博子 様
村上 恒二 様
望月 可奈子 様
八幡浜市役所 様
ヤマネホールディングス
株式会社
代表取締役社長
山根 誠一郎 様
有限会社 メンノ宇多
代表取締役
上田 邦恵 様
株式会社 熊平製作所 様
株式会社 タクワチ建設
代表取締役
竹内 謹治 様
若林 伸一 様

株式会社 中国放送
代表取締役社長
宮迫 良己 様
株式会社 日経不動産
取締役会長
平尾 泰保 様
株式会社 フジタ
代表取締役社長
奥村 洋治 様
株式会社 ユニサス
代表取締役会長
松村 公市 様
神谷 研二 様
河原 能久 様
北村 拓也 様
許 泰一 様
協同出版株式会社
代表取締役
小貫 輝雄 様
楠 雄治 様
小池 透 様
公益財団法人
浦上奨学会
理事長
浦上 浩 様
高祖 讓 様
佐藤 裕子 様
重山 俊彦 様
社会医療法人 清風会
理事長
梶原 四郎 様
新谷 貴之 様
末廣 眞一 様
鈴木 孝尚 様
住田 忠幸 様
高田 隆 様
田中 知満 様
寺本 康俊 様
天道 俊孝 様
土肥 博雄 様
永井 敏隆 様
永井 眞由美 様
長瀬 洋一 様
西口 千登志 様
長谷川 泰二 様
平田 敏夫 様
広島アルミニウム
工業株式会社
代表取締役社長
田島 文治 様
広島県厚生農業
協同組合連合会
尾道総合病院 様
広島大学 薬学同窓会 様

株式会社 中国放送
代表取締役社長
宮迫 良己 様
株式会社 日経不動産
取締役会長
平尾 泰保 様
株式会社 フジタ
代表取締役社長
奥村 洋治 様
株式会社 ユニサス
代表取締役会長
松村 公市 様
神谷 研二 様
河原 能久 様
北村 拓也 様
許 泰一 様
協同出版株式会社
代表取締役
小貫 輝雄 様
楠 雄治 様
小池 透 様
公益財団法人
浦上奨学会
理事長
浦上 浩 様
高祖 讓 様
佐藤 裕子 様
重山 俊彦 様
社会医療法人 清風会
理事長
梶原 四郎 様
新谷 貴之 様
末廣 眞一 様
鈴木 孝尚 様
住田 忠幸 様
高田 隆 様
田中 知満 様
寺本 康俊 様
天道 俊孝 様
土肥 博雄 様
永井 敏隆 様
永井 眞由美 様
長瀬 洋一 様
西口 千登志 様
長谷川 泰二 様
平田 敏夫 様
広島アルミニウム
工業株式会社
代表取締役社長
田島 文治 様
広島県厚生農業
協同組合連合会
尾道総合病院 様
広島大学 薬学同窓会 様

株式会社 中国放送
代表取締役社長
宮迫 良己 様
株式会社 日経不動産
取締役会長
平尾 泰保 様
株式会社 フジタ
代表取締役社長
奥村 洋治 様
株式会社 ユニサス
代表取締役会長
松村 公市 様
神谷 研二 様
河原 能久 様
北村 拓也 様
許 泰一 様
協同出版株式会社
代表取締役
小貫 輝雄 様
楠 雄治 様
小池 透 様
公益財団法人
浦上奨学会
理事長
浦上 浩 様
高祖 讓 様
佐藤 裕子 様
重山 俊彦 様
社会医療法人 清風会
理事長
梶原 四郎 様
新谷 貴之 様
末廣 眞一 様
鈴木 孝尚 様
住田 忠幸 様
高田 隆 様
田中 知満 様
寺本 康俊 様
天道 俊孝 様
土肥 博雄 様
永井 敏隆 様
永井 眞由美 様
長瀬 洋一 様
西口 千登志 様
長谷川 泰二 様
平田 敏夫 様
広島アルミニウム
工業株式会社
代表取締役社長
田島 文治 様
広島県厚生農業
協同組合連合会
尾道総合病院 様
広島大学 薬学同窓会 様

株式会社 中国放送
代表取締役社長
宮迫 良己 様
株式会社 日経不動産
取締役会長
平尾 泰保 様
株式会社 フジタ
代表取締役社長
奥村 洋治 様
株式会社 ユニサス
代表取締役会長
松村 公市 様
神谷 研二 様
河原 能久 様
北村 拓也 様
許 泰一 様
協同出版株式会社
代表取締役
小貫 輝雄 様
楠 雄治 様
小池 透 様
公益財団法人
浦上奨学会
理事長
浦上 浩 様
高祖 讓 様
佐藤 裕子 様
重山 俊彦 様
社会医療法人 清風会
理事長
梶原 四郎 様
新谷 貴之 様
末廣 眞一 様
鈴木 孝尚 様
住田 忠幸 様
高田 隆 様
田中 知満 様
寺本 康俊 様
天道 俊孝 様
土肥 博雄 様
永井 敏隆 様
永井 眞由美 様
長瀬 洋一 様
西口 千登志 様
長谷川 泰二 様
平田 敏夫 様
広島アルミニウム
工業株式会社
代表取締役社長
田島 文治 様
広島県厚生農業
協同組合連合会
尾道総合病院 様
広島大学 薬学同窓会 様

株式会社 中国放送
代表取締役社長
宮迫 良己 様
株式会社 日経不動産
取締役会長
平尾 泰保 様
株式会社 フジタ
代表取締役社長
奥村 洋治 様
株式会社 ユニサス
代表取締役会長
松村 公市 様
神谷 研二 様
河原 能久 様
北村 拓也 様
許 泰一 様
協同出版株式会社
代表取締役
小貫 輝雄 様
楠 雄治 様
小池 透 様
公益財団法人
浦上奨学会
理事長
浦上 浩 様
高祖 讓 様
佐藤 裕子 様
重山 俊彦 様
社会医療法人 清風会
理事長
梶原 四郎 様
新谷 貴之 様
末廣 眞一 様
鈴木 孝尚 様
住田 忠幸 様
高田 隆 様
田中 知満 様
寺本 康俊 様
天道 俊孝 様
土肥 博雄 様
永井 敏隆 様
永井 眞由美 様
長瀬 洋一 様
西口 千登志 様
長谷川 泰二 様
平田 敏夫 様
広島アルミニウム
工業株式会社
代表取締役社長
田島 文治 様
広島県厚生農業
協同組合連合会
尾道総合病院 様
広島大学 薬学同窓会 様

株式会社 中国放送
代表取締役社長
宮迫 良己 様
株式会社 日経不動産
取締役会長
平尾 泰保 様
株式会社 フジタ
代表取締役社長
奥村 洋治 様
株式会社 ユニサス
代表取締役会長
松村 公市 様
神谷 研二 様
河原 能久 様
北村 拓也 様
許 泰一 様
協同出版株式会社
代表取締役
小貫 輝雄 様
楠 雄治 様
小池 透 様
公益財団法人
浦上奨学会
理事長
浦上 浩 様
高祖 讓 様
佐藤 裕子 様
重山 俊彦 様
社会医療法人 清風会
理事長
梶原 四郎 様
新谷 貴之 様
末廣 眞一 様
鈴木 孝尚 様
住田 忠幸 様
高田 隆 様
田中 知満 様
寺本 康俊 様
天道 俊孝 様
土肥 博雄 様
永井 敏隆 様
永井 眞由美 様
長瀬 洋一 様
西口 千登志 様
長谷川 泰二 様
平田 敏夫 様
広島アルミニウム
工業株式会社
代表取締役社長
田島 文治 様
広島県厚生農業
協同組合連合会
尾道総合病院 様
広島大学 薬学同窓会 様

株式会社 中国放送
代表取締役社長
宮迫 良己 様
株式会社 日経不動産
取締役会長
平尾 泰保 様
株式会社 フジタ
代表取締役社長
奥村 洋治 様
株式会社 ユニサス
代表取締役会長
松村 公市 様
神谷 研二 様
河原 能久 様
北村 拓也 様
許 泰一 様
協同出版株式会社
代表取締役
小貫 輝雄 様
楠 雄治 様
小池 透 様
公益財団法人
浦上奨学会
理事長
浦上 浩 様
高祖 讓 様
佐藤 裕子 様
重山 俊彦 様
社会医療法人 清風会
理事長
梶原 四郎 様
新谷 貴之 様
末廣 眞一 様
鈴木 孝尚 様
住田 忠幸 様
高田 隆 様
田中 知満 様
寺本 康俊 様
天道 俊孝 様
土肥 博雄 様
永井 敏隆 様
永井 眞由美 様
長瀬 洋一 様
西口 千登志 様
長谷川 泰二 様
平田 敏夫 様
広島アルミニウム
工業株式会社
代表取締役社長
田島 文治 様
広島県厚生農業
協同組合連合会
尾道総合病院 様
広島大学 薬学同窓会 様

株式会社 中国放送
代表取締役社長
宮迫 良己 様
株式会社 日経不動産
取締役会長
平尾 泰保 様
株式会社 フジタ
代表取締役社長
奥村 洋治 様
株式会社 ユニサス
代表取締役会長
松村 公市 様
神谷 研二 様
河原 能久 様
北村 拓也 様
許 泰一 様
協同出版株式会社
代表取締役
小貫 輝雄 様
楠 雄治 様
小池 透 様
公益財団法人
浦上奨学会
理事長
浦上 浩 様
高祖 讓 様
佐藤 裕子 様
重山 俊彦 様
社会医療法人 清風会
理事長
梶原 四郎 様
新谷 貴之 様
末廣 眞一 様
鈴木 孝尚 様
住田 忠幸 様
高田 隆 様
田中 知満 様
寺本 康俊 様
天道 俊孝 様
土肥 博雄 様
永井 敏隆 様
永井 眞由美 様
長瀬 洋一 様
西口 千登志 様
長谷川 泰二 様
平田 敏夫 様
広島アルミニウム
工業株式会社
代表取締役社長
田島 文治 様
広島県厚生農業
協同組合連合会
尾道総合病院 様
広島大学 薬学同窓会 様

株式会社 中国放送
代表取締役社長
宮迫 良己 様
株式会社 日経不動産
取締役会長
平尾 泰保 様
株式会社 フジタ
代表取締役社長
奥村 洋治 様
株式会社 ユニサス
代表取締役会長
松村 公市 様
神谷 研二 様
河原 能久 様
北村 拓也 様
許 泰一 様
協同出版株式会社
代表取締役
小貫 輝雄 様
楠 雄治 様
小池 透 様
公益財団法人
浦上奨学会
理事長
浦上 浩 様
高祖 讓 様
佐藤 裕子 様
重山 俊彦 様
社会医療法人 清風会
理事長
梶原 四郎 様
新谷 貴之 様
末廣 眞一 様
鈴木 孝尚 様
住田 忠幸 様
高田 隆 様
田中 知満 様
寺本 康俊 様
天道 俊孝 様
土肥 博雄 様
永井 敏隆 様
永井 眞由美 様
長瀬 洋一 様
西口 千登志 様
長谷川 泰二 様
平田 敏夫 様
広島アルミニウム
工業株式会社
代表取締役社長
田島 文治 様
広島県厚生農業
協同組合連合会
尾道総合病院 様
広島大学 薬学同窓会 様

株式会社 中国放送
代表取締役社長
宮迫 良己 様
株式会社 日経不動産
取締役会長
平尾 泰保 様
株式会社 フジタ
代表取締役社長
奥村 洋治 様
株式会社 ユニサス
代表取締役会長
松村 公市 様
神谷 研二 様
河原 能久 様
北村 拓也 様
許 泰一 様
協同出版株式会社
代表取締役
小貫 輝雄 様
楠 雄治 様
小池 透 様
公益財団法人
浦上奨学会
理事長
浦上 浩 様
高祖 讓 様
佐藤 裕子 様
重山 俊彦 様
社会医療法人 清風会
理事長
梶原 四郎 様
新谷 貴之 様
末廣 眞一 様
鈴木 孝尚 様
住田 忠幸 様
高田 隆 様
田中 知満 様
寺本 康俊 様
天道 俊孝 様
土肥 博雄 様
永井 敏隆 様
永井 眞由美 様
長瀬 洋一 様
西口 千登志 様
長谷川 泰二 様
平田 敏夫 様
広島アルミニウム
工業株式会社
代表取締役社長
田島 文治 様
広島県厚生農業
協同組合連合会
尾道



あの頃
広大は



地域に愛され続ける東千田キャンパスの会館食堂

東千田キャンパスは、1995年に統合移転が完了するまで、広島大学のメインキャンパスとして学生や地域の人々に親しまれてきました。1970年は「外食元年」と呼ばれ、日本で飲食店が次々と創業。広島大学でも1977年に東千田キャンパス生協食堂部が営業を開始し、安くてボリューム満点の食事を提供していました。キャンパス人口の減少に伴い食堂の規模も縮小しつつありましたが、医療系学部1年生に対する初年次教育が東千田キャンパスで行われることになり、2016年に食堂が「バナナダイニング」としてリニューアルオープン。2023年には法学部等も東千田キャンパスに回帰し、キャンパスににぎわいが戻っています。



1978年の会館食堂

広島大学 統合報告書

本学の活動を分かりやすくお伝えし、ご理解いただくことを目的とした「広島大学 統合報告書 2024」を発行しました。本学の目指す未来とその実現に向けた各取り組みの成果を本学の特色や強みと共にご紹介しています。ぜひご覧ください！

デジタルブックやアンケートはこちらからご覧いただけます



100年後にも世界で光り輝く大学へ

広島大学

編集・発行：広島大学 広報室

〒739-8511 東広島市鏡山1-3-2 TEL:082-424-4383 FAX:082-424-6040

E-mail: koho@office.hiroshima-u.ac.jp

https://www.hiroshima-u.ac.jp

